



概要

通信機能とロギング機能を搭載した
高精度アスман通風型乾湿計です

特徴

乾球湿度、湿球温度、相対湿度を表示
温度計測に白金センサの採用で高精度な測定が可能
測定結果はリアルタイムで表示
RS232Cによるデータ出力
メモリーカードによるロギング機能（AH-110のみ）
ネットワーク接続（オプション）

アプリケーション

ビル環境測定
作業環境測定
学校環境測定
気象計測
電子式湿度計校正用標準器

仕様

モデル名	AH-100	AH-110
乾球 / 湿球温度有効測定範囲	0.0 ~ 50.0（表示分解能0.1） 凍結無き事	
表示種類	乾球温度、湿球温度、相対湿度、不快指数、日時	
相対湿度表示範囲	0.0 ~ 99.9%RH	
温度精度	±0.3	
使用温度範囲	0 ~ 50 結露無き事	
飽和水蒸気計算方法	テイテンの式	
通風速度	5m/s ±0.5m/s	
温度測定センサー	白金側温抵抗素子（Pt100）	
ロギング機能	なし	MMC Memory card
外部出力	RS232C準拠	
電源	DC12V 1000mA	
外形寸法 / 質量	約（W）120 × （D）120 × （H）355 1.7[kg]（突起物は含まず）	
付属品	電子式アスман乾湿計本体、ACアダプター、不織布5枚、 注水ボトル、スタンド、取扱説明書、SDカード（AH-110モデル）	
価格	¥248,000	¥295,000

（財）気象業務支援センター検定付きモデル提供できます。（オプション）
（気象業務法第9条気象測器検定規則第2条に該当する検定対象測器です。）
国家標準にトレースできます。（オプション）

アスマン通風乾湿計

二本の温度センサーを使い片方の先端をガーゼで覆い湿らせる。湿らせてある方を湿球、何もつけていない方を乾球と呼びます。上部には、通風装置が付いており温度センサーに一定速度(風速約5m/s程度)の風が当たるようになっています。湿度により、湿球を覆うガーゼから水が蒸発する速度が変化します。水が蒸発する際に熱を奪うため湿球の温度が下がります。相対湿度は湿球温度の変化に依存します。その結果、乾球と湿球の温度差から湿度を求めることができます。

テイテンの式による飽和水蒸気圧の算出と湿度の計算方法

通風型乾湿計による湿度測定は、乾球と湿球の読み取り値を使って以下の式で湿度を求められます。

乾球の指示値を $t(^{\circ}\text{C})$ 、湿球の指示値を $t'(^{\circ}\text{C})$ とすると、このときの水蒸気圧 $e(\text{hPa})$ は

$$e = e_s' - K P (t - t') \quad (1)$$

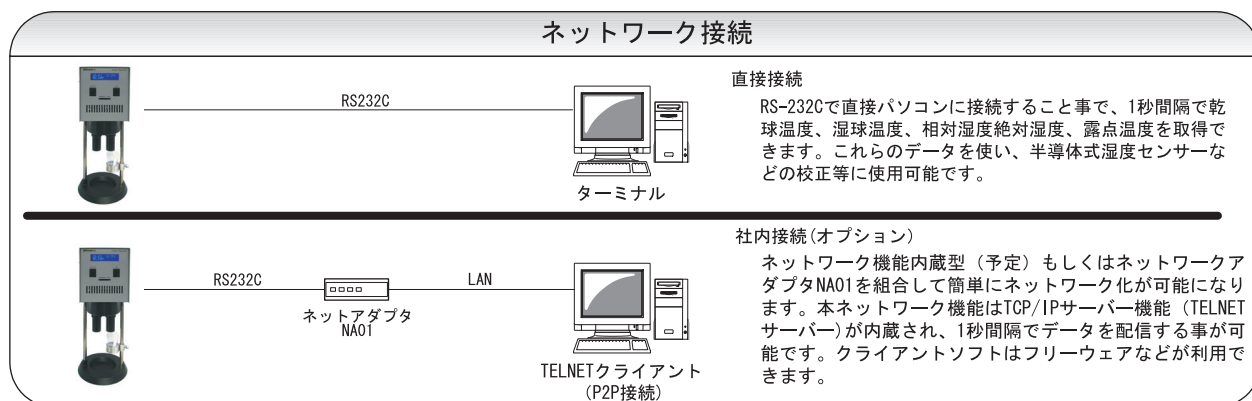
で求められます。この式で e_s' は、 $t'(^{\circ}\text{C})$ における飽和水蒸気圧、 P はその場所の気圧です。 K は乾湿計定数で通風型乾湿計では、 $K=0.000662$ 。気圧 P としては、 1013.25hPa (標準大気圧) を用います。気圧が通常の範囲(980から1040hPa)であれば、この値を用いても大きな誤差はありません。テイテン(Tetens)の式による飽和水蒸気圧の算出は、下記の式で求められます。

$$e_s = 6.11 \times 10^{\frac{at}{b+t}} \quad (2)$$

ここで、 t は $[^{\circ}\text{C}]$ で表した温度、定数 $a=7.5$ 、 $b=237.3$ で湿度(相対湿度) $f(\%)$ は、以下の式で求められます。

$$f = e / e_s \times 100 \quad (3)$$

ネットワーク接続形態



Winnics
Wind Technology

製造・販売元 東亜工業株式会社

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-22-1 葛飾区工場ビル401

TEL 03-5698-7522 FAX 03-5698-2534

E-Mail info@toa-tec.co.jp

URL <http://www.toa-tec.co.jp> <http://www.winnics.com>